

コムワン だより

H29.3.10

№60

～集中豪雨の対策準備を～

数年前に「爆弾低気圧」と呼ばれる台風並みの暴風と雷を伴う激しい雨をもたらす低気圧が4月に発生いたしました。今後も注意が必要です。

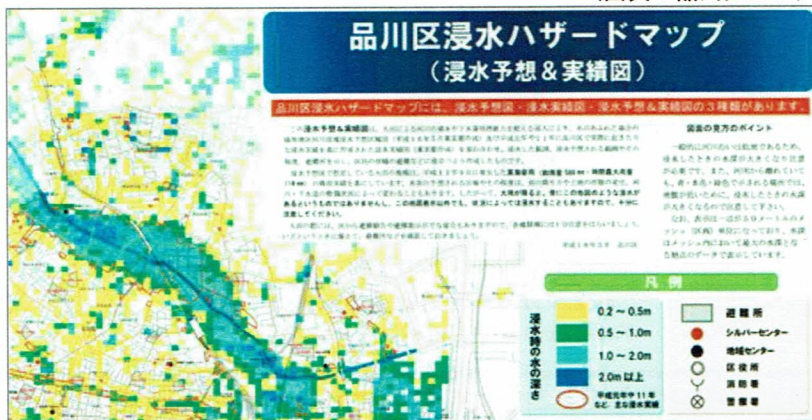
また、最近は4月・5月から集中豪雨や局地的に多量の雨が降る「ゲリラ豪雨」の被害も散見されておりますので、早い段階で対策を立てておくようにしましょう。

(出典：品川区HP)

地域を知る

マンションが所在する地域で、大雨が降った場合、災害の発生しやすい場所、被害の拡大範囲、被害の程度等を事前に把握しておくことが必要です。

以上の様な情報を入手する方法として、ハザードマップ(右図参照)があります。ハザードマップには避難場所や避難経路などの情報も示されておりますので、避難が必要となる場合に備え、事前にハザードマップの内容を確認しておくことをお勧めいたします。

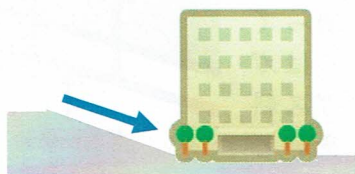


※自治体によってはインターネット上でハザードマップの取得も可能です。

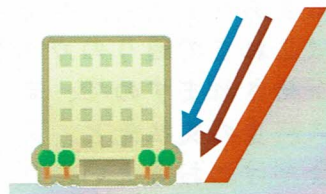
マンションの立地や特性を知る

上記のハザードマップにより、大まかに周辺地域の状況を把握することはできますが、マンションの立地や特性も災害対策として、把握しておかなければならないことです。右図の様に周辺の土地より低い場所に建っているマンションは、雨水が流れ込んでくる可能性があるため、注意が必要です。また、周辺が崖地となっている場合は土砂崩れなどのリスクにも注意を払う必要があります。

《周辺の土地より低い》



《崖地に近い》



マンションに合わせた事前準備

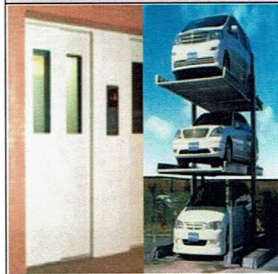
マンションの災害対策を講じるにあたり、上記の条件を鑑みて対策を立てる必要があります。地下ピットに格納されるタイプの機械式駐車場が設置されているマンションでは、駐車車両の水没にも留意する必要があります。

■雨水等の流入防止策



敷地外から雨水等の流入が懸念されるマンションの場合、土のうや止水板等を準備し、雨水等の流入防止を図りましょう。土のうは役所などで貸出しをしている自治体もございます。

■停電等の二次災害への対策



集中豪雨等の影響で停電の心配がある場合はエレベーターの使用は避けましょう。また、機械式駐車場においても、別の場所に車を移動させるなど、事前の対策を行うようにしましょう。



CommunityOne

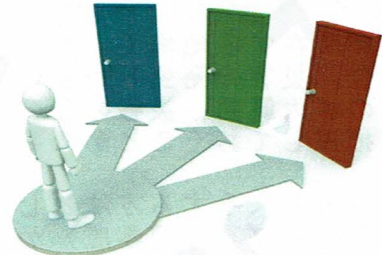
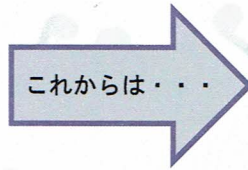
～都市ガスの小売自由化について～

都市ガスの小売自由化とは・・・？

既に自由化されている工場向けなどの都市ガスに加え、今回、ご家庭向けの都市ガスが自由化されることで、都市ガスの全面自由化となります。これまで地域で決められた都市ガス会社としか契約できなかった一般のご家庭でも、自由にガス会社を選べるようになります。



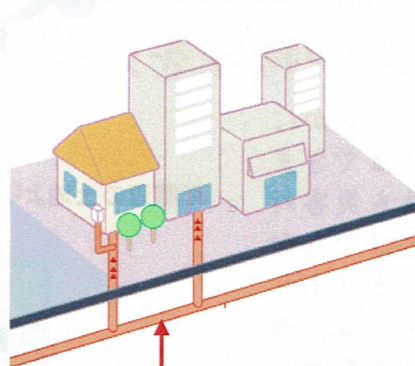
これまではガスの契約先は地域のガス会社のみでしたが・・・、



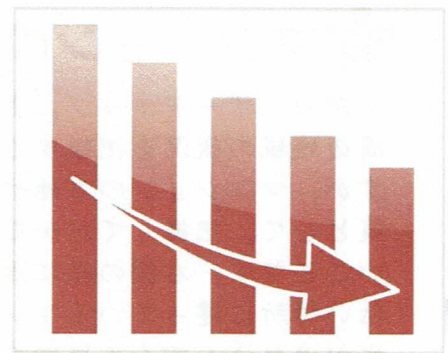
契約先が自由に選べるようになります。(※地域により異なります)

ガス会社の乗り換えによる工事の要否

都市ガスの小売自由化で気になるのが、ガス会社を乗り換えるにあたって工事が必要なのかどうかという点ですが、基本的にガス会社を乗り換えるにあたっての工事は必要ありません。家庭に届くガスはこれまで通りのガス管を通して供給されますので、変わるのはガス料金の支払先と、月々のガス料金だけとお考えいただくと良いと思われます。



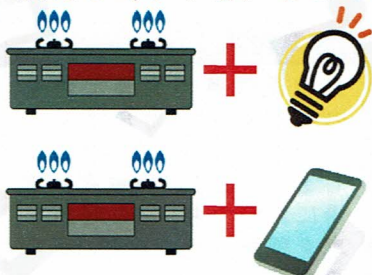
ガスの供給に使用する導管は原則これまでと変わりません



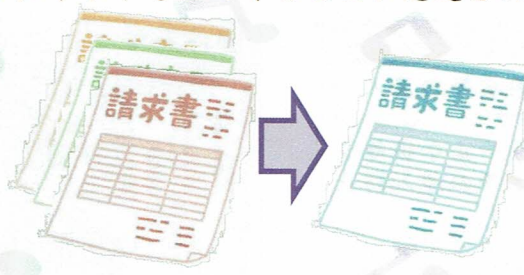
選んだプランにより料金低減も・・・

ガス会社の乗り換えによるメリット・デメリット

ガス会社を乗り換えることにより、「割安な料金プランが選べる」「支払先が一本化できる」「付加サービスを受けられる」など、様々なメリットがある一方で、「どこを選ぶか迷う」「再度乗り換える時が不安」などのデメリットも出てくるのが想定されます。



ガス以外の料金とのセット割プラン (メリット)



契約先の変更で支払先を一本化 (メリット)



魅力的なプランに迷うことも・・・ (デメリット)

